

7/26

海のまち 山のまち 児童たちの地域間交流

## 江府町・西ノ島町児童交歓臨海学校

鳥取県江府町と西ノ島町は、昭和54年に姉妹町として現在も継続して交流しています。以来、地域交流事業の一環として夏の臨海学校（西ノ島町）と冬のスキー教室（江府町）を行っています。

今年も7月26日から2泊3日の日程で開催されました。

昨年は天候不良により、西ノ島町での臨海学校が中止となったため、今年は5年生・6年生の2学年を対象に江府小学校から45名、西ノ島小学校から25名の児童たちが参加しました。両校の児童たちはすぐに仲良くなり、磯遊びや海洋スポーツを体験して交流を深めました。冬にはスキー教室として再会することを楽しみに、港では紙テープで別れを惜しみました。



隠岐の海はきれい！



海洋スポーツ体験



国賀海岸で記念撮影

7/30

ふるさとの自然を舞台に人間力アップ

## スリー・デイキャンプ in 西ノ島

中央公民館では、7月30日（土）から8月1日（月）の3日間、島根鼻公園オートキャンプ場にて、小学生4～6年生対象の2泊3日の教育キャンプを実施しました。

このキャンプでは、集団活動を通して自主性や協調性の伸長を促したり、忍耐力を身につけたりすることに加え、ふるさとの海への愛着を醸成することをねらいとしました。

今回のキャンプでは、「自分で食べるごはんは自分で炊く」をキーワードに、すべての食事において、参加児童一人ひとりが、自ら薪を割り、一人用コンロと土鍋を使ってお米を炊きました。また、イカダ作りでは、それぞれの班が自分たちのイカダをデザインし、竹を切って作り上げました。

2時間かけて炊いたご飯がおこげだらけだったり、航海中にイカダがひっくり返ったりするなど、ハプニングの連続でしたが、参加児童全員が自らの成長を感じとることができる3日間でした。



▶ 薪割りから火おこしまで  
児童一人ひとりが行いました

7/30

豪華客船寄港・西ノ島マルシェ・土曜ちびっ子祭り

7月最終土曜日は浦郷が賑わいました

7月30日(土)、浦郷港に豪華客船「ぱしふいっく・びいなす」が寄港し、約300名の方が国賀海岸で観光船やハイキングを楽しみました。岸壁周辺ではイカ焼きのふるまい等やお土産販売が行われ、西ノ島ふるさと案内人による抹茶コーナー、由良比女神社までの町歩き、バスツアーが好評でした。

また、西ノ島町観光交流センター内で「西ノ島マルシェ」も同時開催され、島内外の方が手作り雑貨や食べ物など多数出品され、港がとても賑やかになりました。

夕方からは浦郷商店街で、2年に一度のちびっこ土曜祭りが行われ、子ども神輿やクイズ、大道芸、民謡、抽選会などが催され地元の方や帰省客、観光客で夜遅くまで賑わいました。また夜店や地元の方による各種出店などが行われ祭らしく子どもたちの楽しそうな顔が印象的でした。

※クルーズ船は10月5日(水)に飛鳥Ⅱが、6日(木)にっぽん丸が、28日(金)ぱしふいっくびいなすの計三回寄港する予定です。



▲ちびっこ土曜祭り



▲大賑わいの西ノ島マルシェ

8/9

環太平洋大学隠岐夏合宿

「隠岐から出雲へ！」を合言葉に

8月9日(火)から13日(土)までの5日間、環太平洋大学陸上競技部、中・長距離ブロックの学生38名が西ノ島町にて夏季強化合宿を行いました。鬼舞展望所などの雄大な自然のなかでクロスカントリーを行ったりパワーアップを意識した合宿となったようでした。来年の出雲駅伝出場権獲得に向け「隠岐から出雲へ！」を合言葉に、厳しいトレーニングに励んでいました。

休憩時間には外浜海岸で泳いだり、隠岐の海の綺麗さに感動していました。また、合宿最終日には、打ち上げと住民との親睦会を含めたBBQを行いました。西ノ島を好きになってくれた学生からは「また西ノ島にきたい！」という声も数多くいただきました。学生たちの今後のご活躍を期待しています。



▶ 鬼舞展望所への急坂を全力で駆け上がります



▶ 合宿終了後の打ち上げ親睦会